

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和3年度第4四半期（令和4年1月～3月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：30社 建設業：20社 小売業：42社 サービス業：58社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

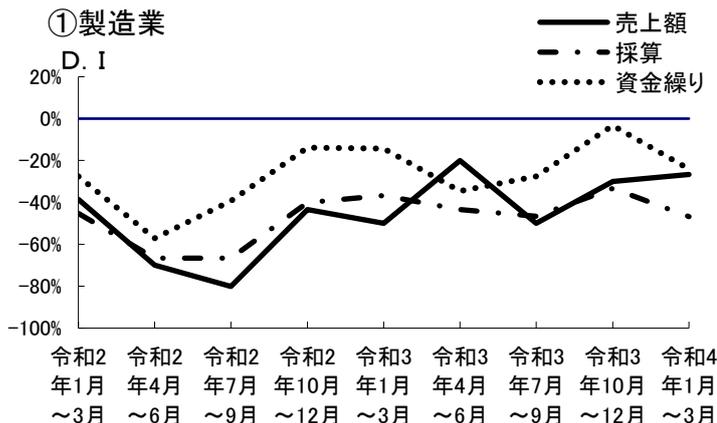
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	令和2年 1～3月期	 ▲ 43.3	 0.0	 ▲ 55.0	 ▲ 23.7	 ▲ 30.5					
令和2年 4～6月期	 ▲ 69.0	 ▲ 25.0	 ▲ 77.5	 ▲ 60.3	 ▲ 58.0						
令和2年 7～9月期	 ▲ 55.2	 ▲ 20.0	 ▲ 65.9	 ▲ 54.2	 ▲ 48.8						
令和2年 10～12月期	 ▲ 41.5	 ▲ 20.0	 ▲ 64.2	 ▲ 37.9	 ▲ 40.9						
令和3年 1～3月期	 ▲ 39.3	 ▲ 20.0	 ▲ 53.7	 ▲ 34.5	 ▲ 36.9						
令和3年 4～6月期	 ▲ 40.0	 ▲ 25.0	 ▲ 51.2	 ▲ 28.1	 ▲ 36.1						
令和3年 7～9月期	 ▲ 43.3	 0.0	 ▲ 42.9	 ▲ 43.1	 ▲ 32.3						
令和3年 10～12月期	 ▲ 33.3	 ▲ 15.0	 ▲ 57.2	 ▲ 39.7	 ▲ 36.3						
令和4年 1～3月期	 ▲ 51.8	 ▲ 30.0	 ▲ 66.7	 ▲ 53.4	 ▲ 50.5						
令和4年 4～6月期	 ▲ 43.3	 ▲ 35.0	 ▲ 64.3	 ▲ 42.1	 ▲ 46.2						

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



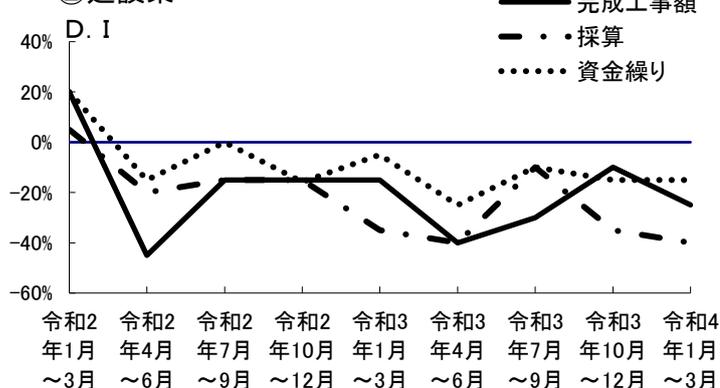
<前期比>

売上額 : やや好転 (▲30.0→▲26.7 ポイント)
 採算 : 悪化 (▲33.3→▲46.7 ポイント)
 資金繰り : 悪化 (▲ 3.3→▲24.1 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 原材料価格の上昇 (27.6%)
 2位 : 需要の停滞 (24.1%)

②建設業



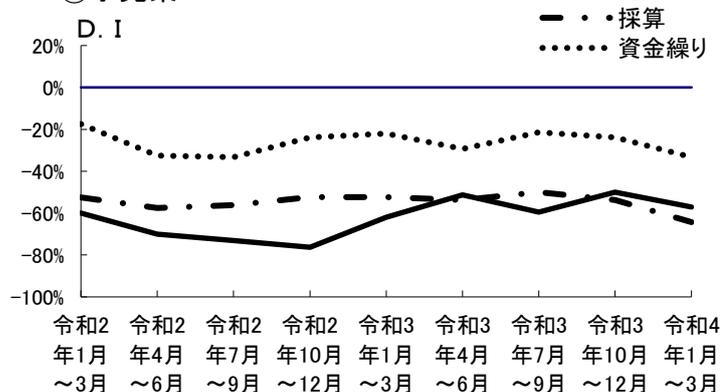
<前期比>

完成工事額 : 悪化 (▲10.0→▲25.0 ポイント)
 採算 : やや悪化 (▲35.0→▲40.0 ポイント)
 資金繰り : 横ばい (▲15.0→▲15.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 材料価格の上昇、
 従業員の確保難 (23.5%)
 2位 : 材料の入手難 (17.6%)

③小売業



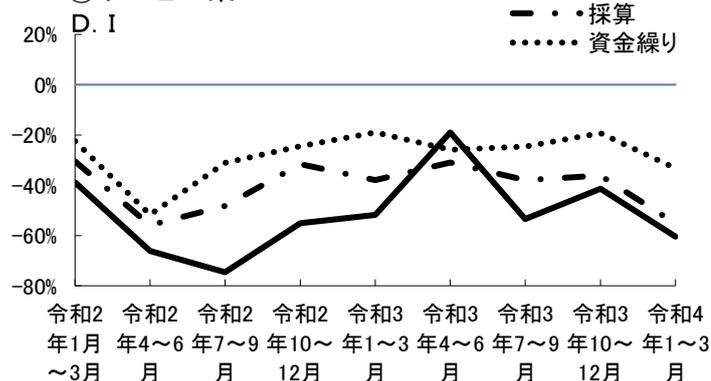
<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲50.0→▲57.1 ポイント)
 採算 : 悪化 (▲53.7→▲64.3 ポイント)
 資金繰り : やや悪化 (▲23.8→▲33.3 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 仕入単価の上昇 (26.8%)
 2位 : 大型店・中型店の進出による競争の激化、
 需要の停滞 (19.5%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : 悪化 (▲41.4→▲60.4 ポイント)
 採算 : 悪化 (▲36.2→▲55.2 ポイント)
 資金繰り : 悪化 (▲19.3→▲33.3 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (34.0%)
 2位 : 利用者ニーズの変化、
 材料等仕入単価の上昇 (16.0%)